

淫魔にうばわれた幼馴染

と再会したら

サキュバスにされていた

合計・42P

けもけもハウス

北の森最深部
廃墟の古城

ニニカ

サキユバスの
拠点つてのは

ここにティファ
が攫われた
つてか

ねえ何で
サキユバスが
女を攫うのさ

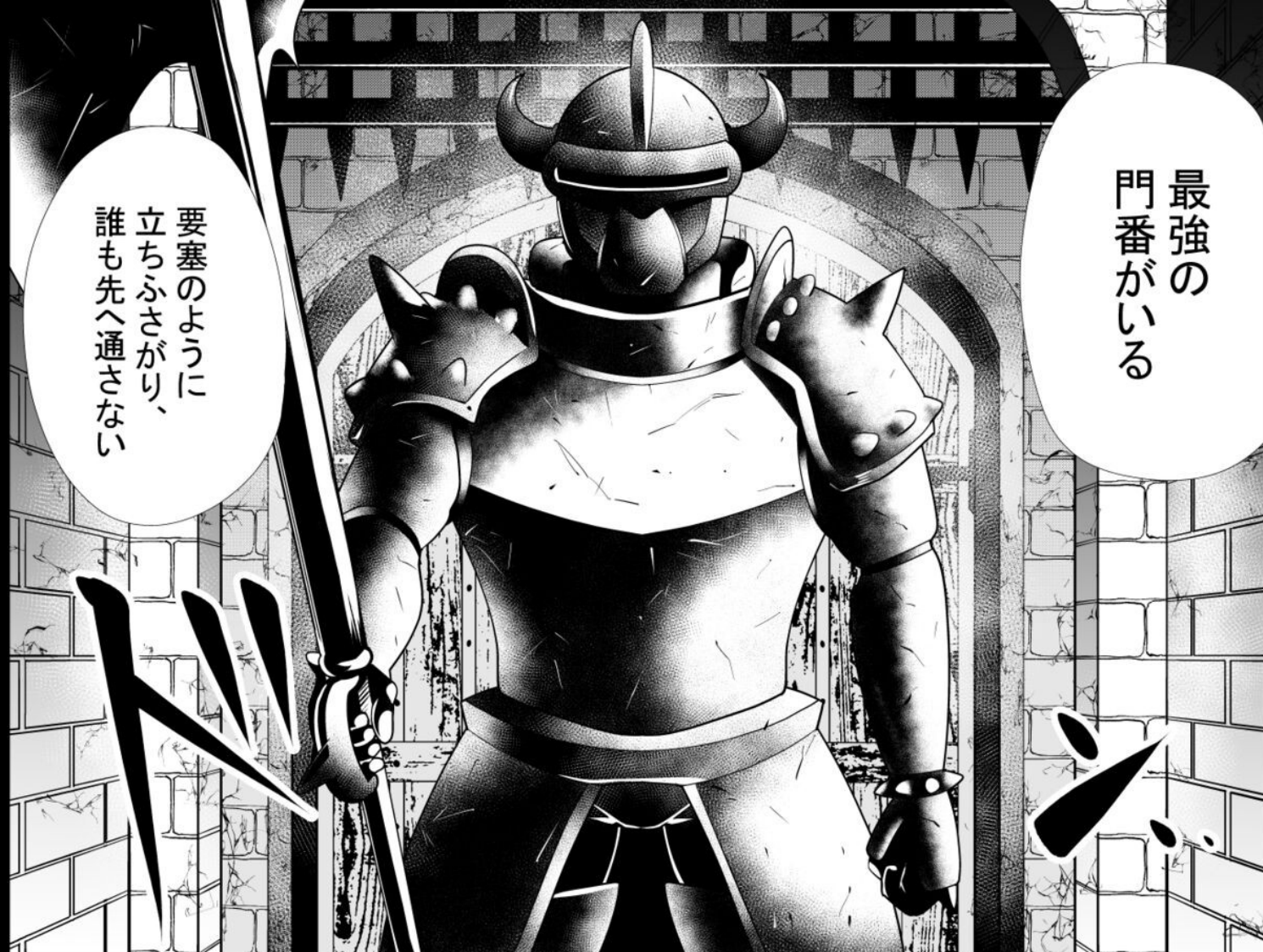
だが
サキユバスの
城には――

知らねえよ

サキユバスの群に
ティファを見たつて
ヤツがいた

共通の友人の
証言だからな
確度は高え

カツ



最強の
門番がいる

要塞のように
立ちふさがり、
誰も先へ通さない



くっく...

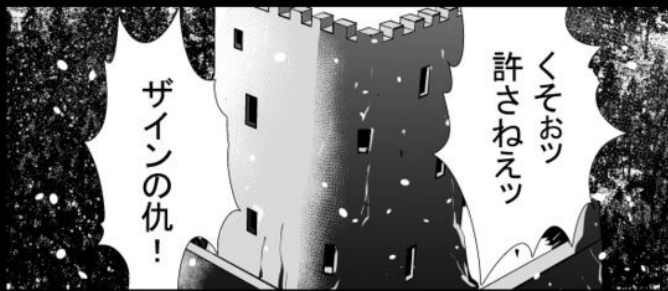
俺は
一筋縄じゃ
いかんぜ...

ティファああッ



：ヨコカラ
先ハ
通サヌ

去ラレヨ







10
年前



え？
サキュバスが
出た？

マルクス・
ゴッドフリート
(下積み時代)



そんな情報
どこで？

今朝ギルドで
冒険者の人たちが
言ってたのよ



そう、この街の
近くの川に
現れたんだって

だから暫く
ひとりで
出歩かないで

もぐ

ライラ・ラベル



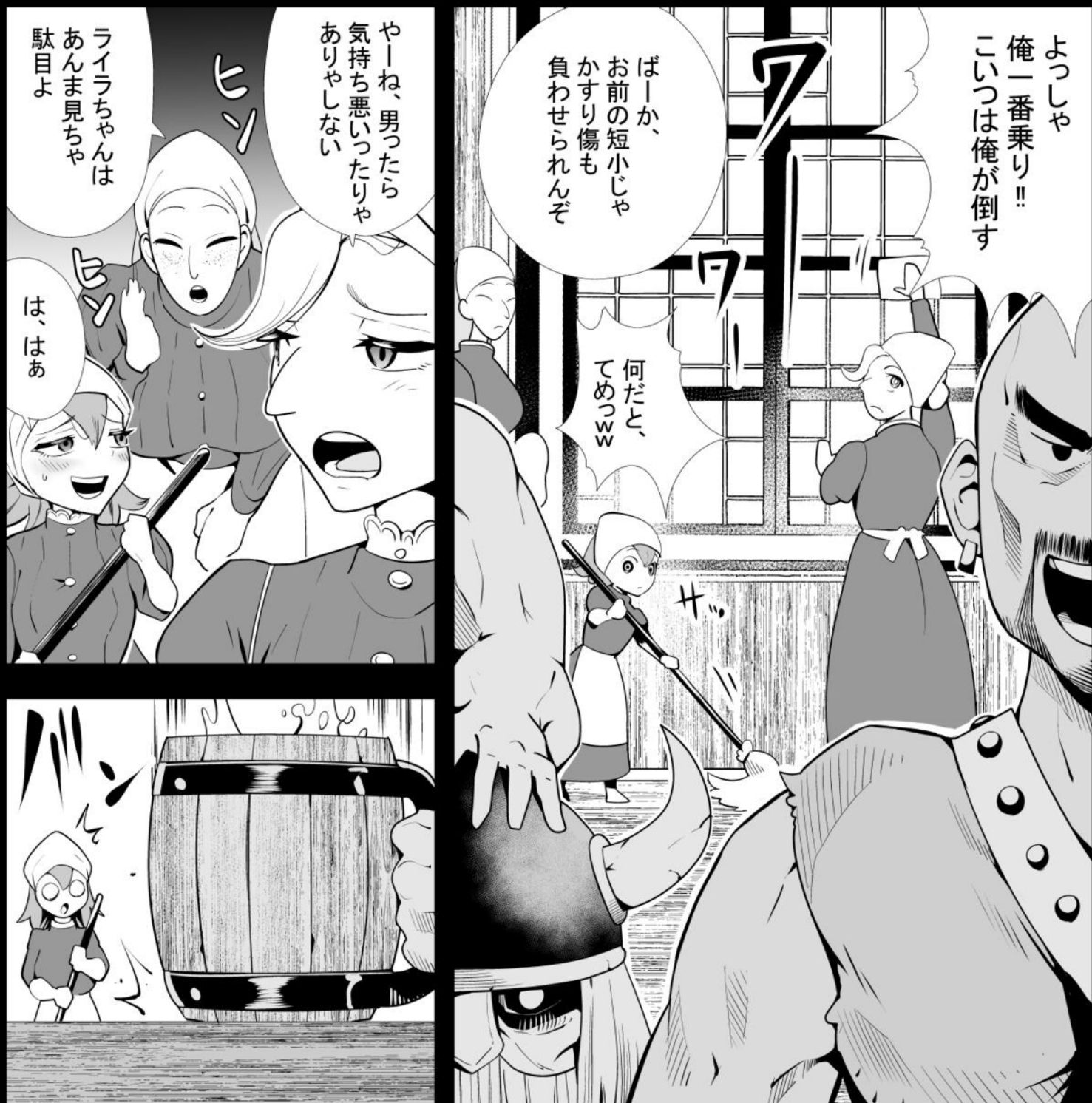


おい、見ろよ
サキユバスが
出たんだとよ

ええっ
マジでか

討伐報酬
一万銀貨

うひょおお
たまらねええ
場所も近くじゃねえか



よっしや
俺一番乗り!!
こいつは俺が倒す

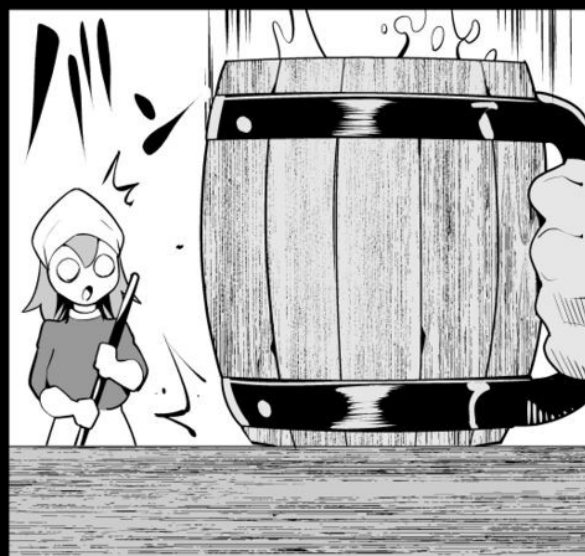
ばーか、
お前の短小じや
かすり傷も
負わせられんぞ

何だと、
てめっww

やーね、男つたら
気持ち悪いったりや
ありやしない

ライラちゃんは
あんま見ちゃ
駄目よ

は、はあ





ああ？
何だてめ

見慣れねえ
顔だな



サキユバスには
関わるな…

ろくなことには
ならねえ…



やめとけ
サキユバス討伐に
行くなッ

男は
家に帰って
家族を守れ



へえーそんな
ことがあったのか

うん
だから気を付けて
ほしいの



サキユバス…
気になるな

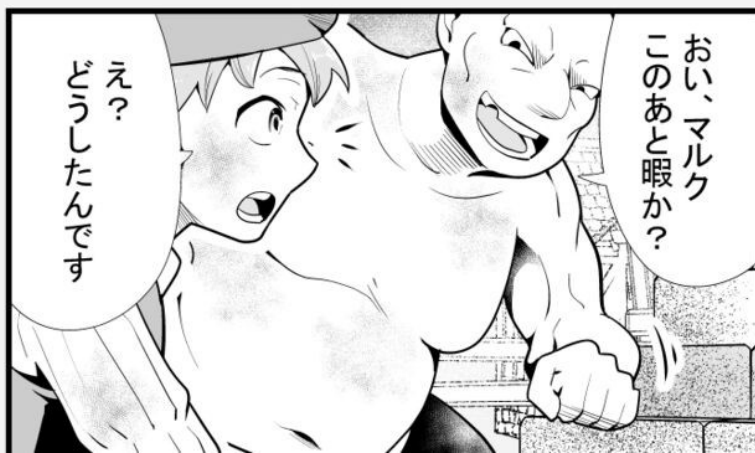
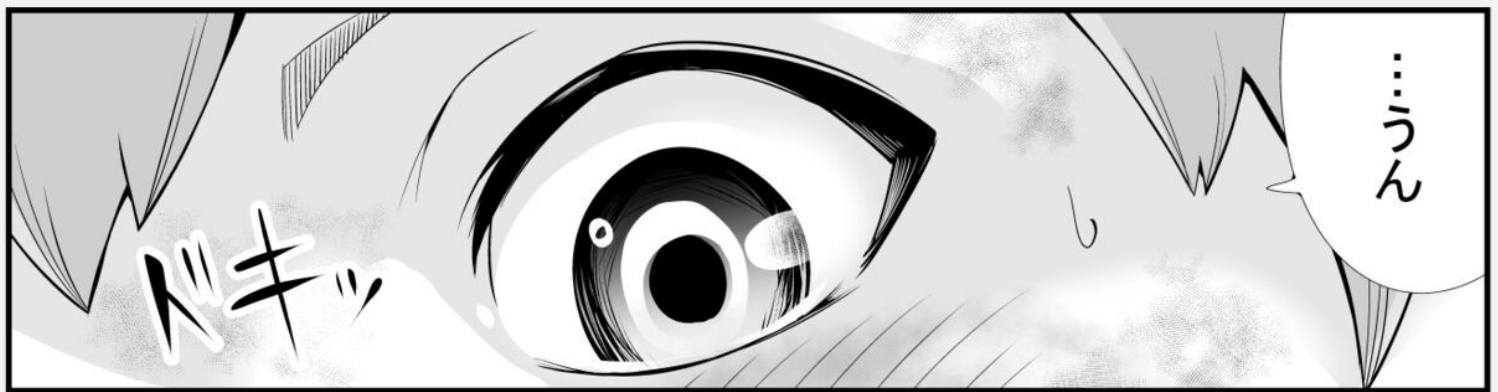
もん
もん

もー！
本当に心配
なんだよ！

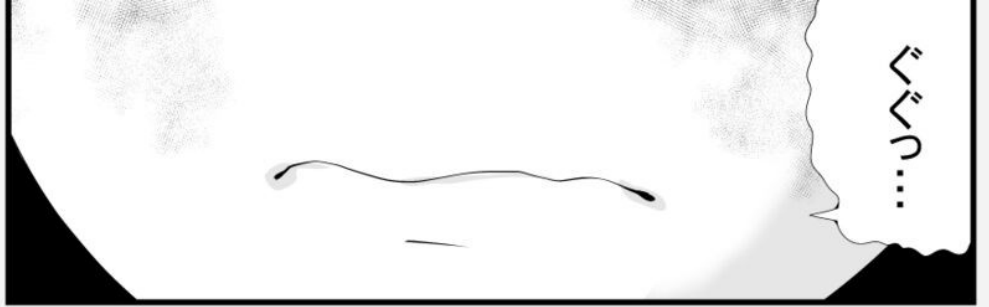


ほっとけ
ただの酔っ払いだ

朝から
酒飲んでて
立たねえんだろ
つたく俺らの
息子に嫉妬
してんなよ







ぐぐつ…



わ、わかりました
ちよつとだけ
ですよ

イエーイ!
それでこそ
男だぜ

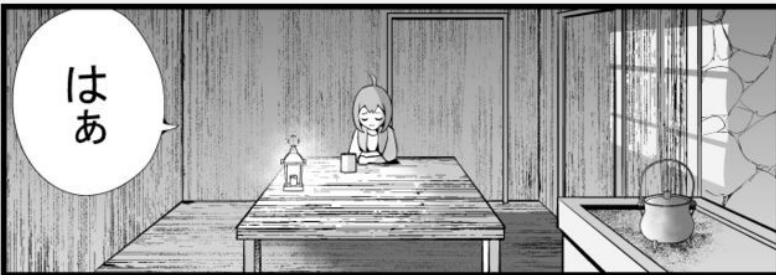
マジでいて
ほしいな
サキユバス

マルクの野生に
火をつけて
もらおうぜ



ライラのために…
男になるためだ!

本当は
サキユバスに
興味なんか…



はあ



早く帰って
来てつて
言ったのに

何してるのよ

まだ…



ホー



マルク

でもさ
同居のマルクも
そろそろいい歳だろ

変な気が起きてても
おかしくない
年頃だけどねえ



わっわたしたちは
そんなんじゃ
ありません！
本当にただの
同居人です！

あらあら
ムキになって

ニヤ♡
ライラちゃん
かわいい



キラッ



女の裸に
興味があるなら

わたしが
いつだって

ヒキ
ヒキ...



でもね
ライラがそうでも
マルクはどうかしら

グズグズしてると
他の女に
目移りしたりして...♪

ムッ...

ツン



こんばんは
お嬢さん









君はただ

喜びを知るといい



大丈夫

か、からだがり
しびれひえ…



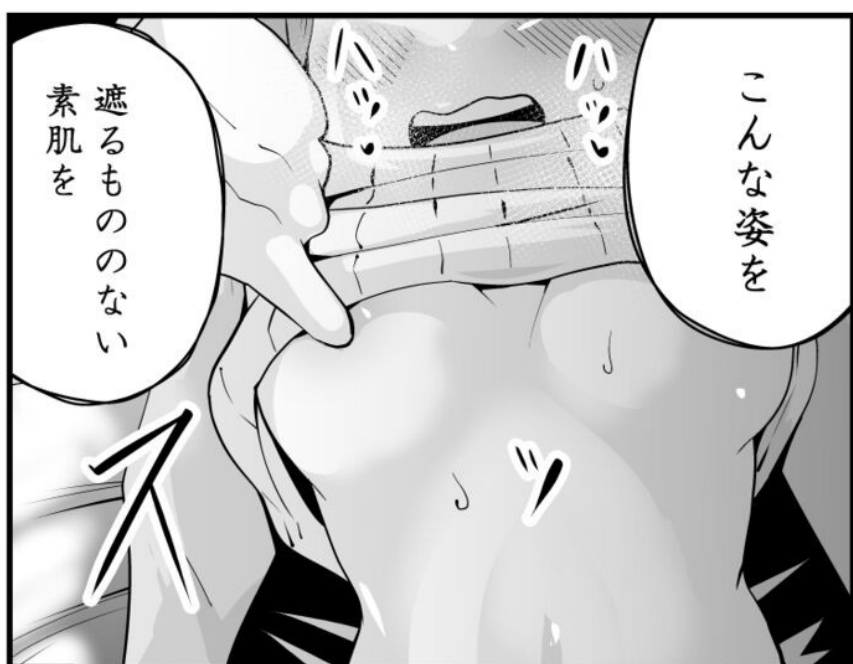
いい匂いだ…

身体は男を
求めているのに、
まだ男を
知らない香り



しかし遅いな
君が求めている
その男

今頃サキュバスに
抱かれているんじや
ないか…？







まだイってるな？
俺のモノになって
満足したか

こ、これは
違うの…

私は…
私は…
私は……

だめえ、
腰が
動いちゃう…♡

はぁ

はぁ

しゅわ

くちゅ

ぬる

しゅわ

遠慮せず
味わえ…

じゅわ…

腰が…腰が
止められない♡

すい…♡
すいよお…♡

頭の中が
真っ白に
なっちゃう…♡

しゅわ

ぐわ

はぁ

くちゅ

くちゅ

くちゅ



ああっ♡

ぴくっ

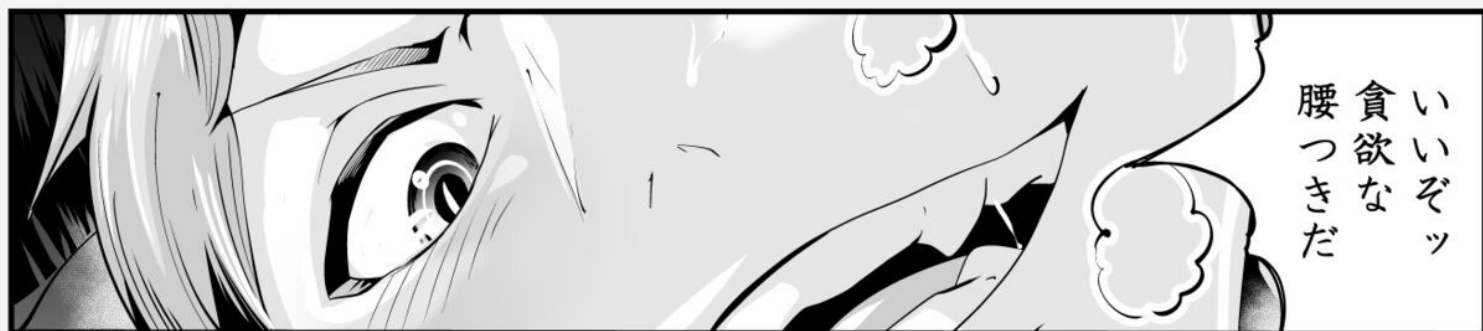
はっ♡

はっ♡

もっとお♡
もっと奥う♡

ぴくっ

ぐうっ♡



いいぞッ
貪欲な
腰つきだ



その歳で
よく濡れる…

いやらしい
娘だ…

わ、わたし、
そうだったんだ…♡



気持ちいい♡

はっ♡

こんなの知らない♡
こんな世界が
あったなんて♡♡

まあー♡

はっ…!

ああん♡

ああッ

うう…
ああああッ♡

フフフ
ツツツ
…!!

ああああ
ヤバ…ッ
ああッ♡

んぐっ!!
ハッ…!!

あああああ
ああああッ
…♡♡♡

ぴゅん
ぴゅん
ぴゅん







もう少年じゃないですよ
ギルド長



マルクス・
ゴッドフリート
(職業: 剣士)

まだ少年さ

それで
手がかりは?



ああ、北の森の
開拓民から得た
情報だが

この森は女性が
よく神隠しに
会うらしい



ほう

霧も濃く
野獣も多い
危険な場所だ

ただ森の奥に
何者かの城が
みつかった



ニニニか...

そのあたりでライラと
思わしき女性が
目撃されたらしい



迷路みたいな
森だった

まさか
こんな奥地に
城があったとは

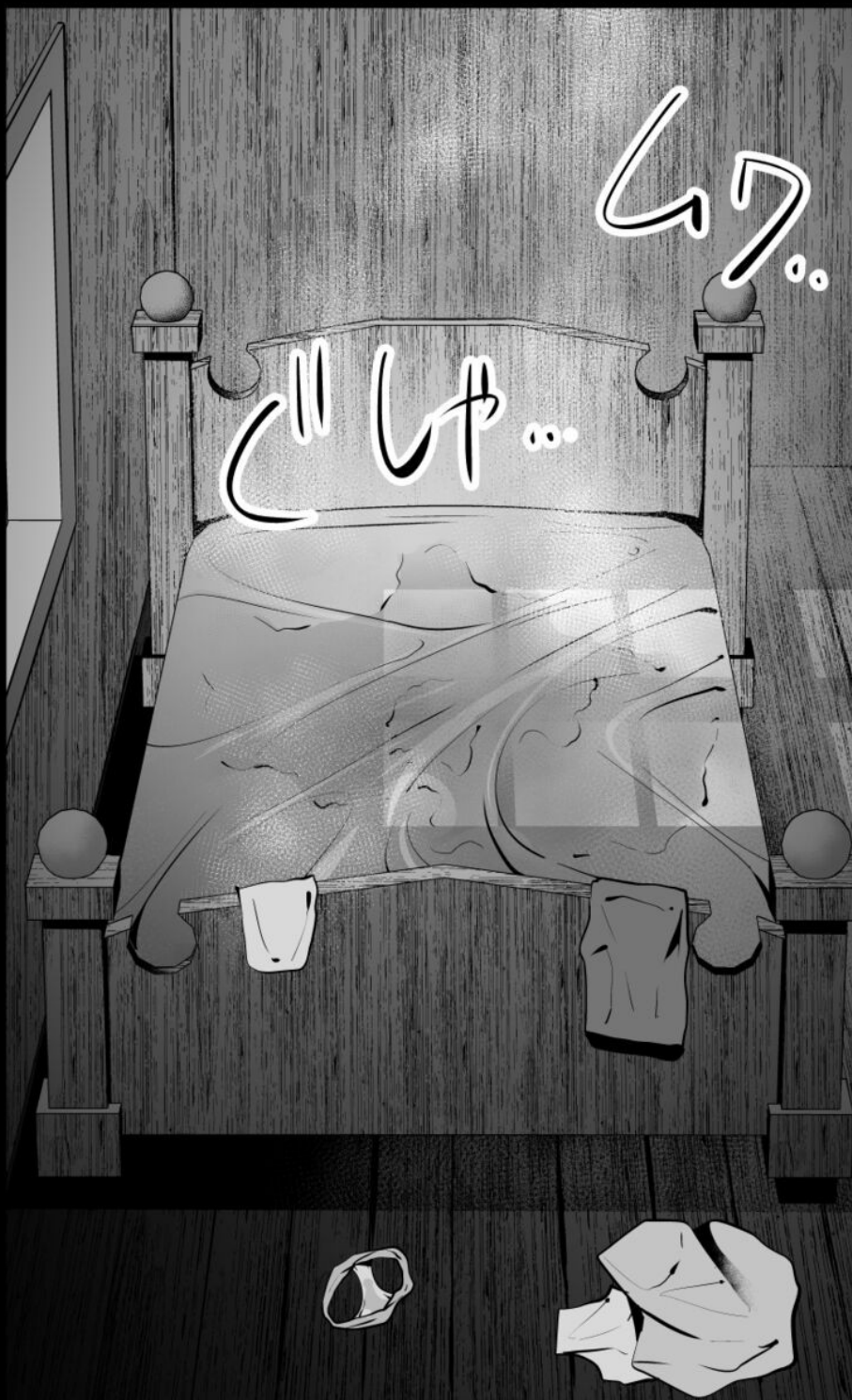


8年前

なんだよ、
サキユバスは
逃げたってさ
骨折り損の
くたびれ儲け
だぜ

マルク
送っていつて
やるよ

すみません



ライラが
どこにも
いねえぞツ

人さらいか!!

でも争った
形跡がねえ

寝室以外…

まさか他の
男と…?

うっ.

ま、マルク!!

う、うそだ

あのライラが…!?

そんなはずは!!

アイ



ようこそ

よく
辿り着いたね

この城へ

ム

ク
あ♡



ライラ覚えていたのか？
お前が抱かれたかった
男だぞ

きゃ
きゃ♡



森には獣がうじゃうじゃ
相当の手練れでなければ
ここへは辿り着けぬ

そこそこ
優秀な
雄のようだ

わく
わく



さあ、
ライラ
帰ろう！



ライラ：

お前が
親玉か





すっこの…♡

こんなに
気持ちいいことが
あったなんて
知らなかった…♡

ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ



あっ♡
あっ…♡

あっ♡

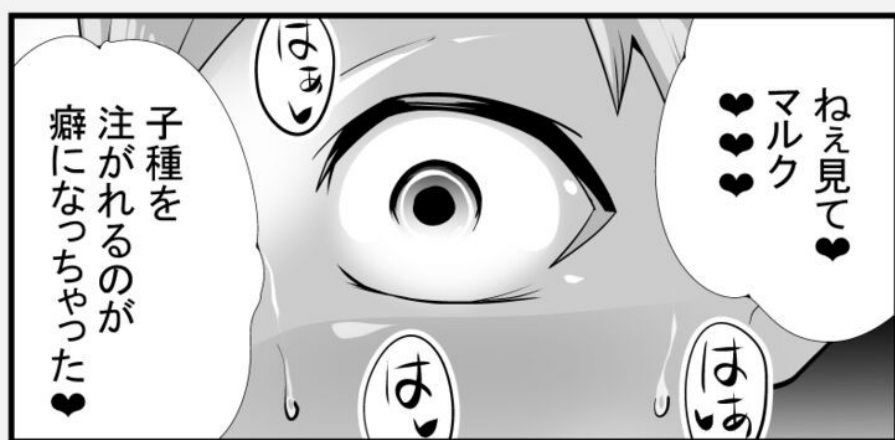
あっ♡

今も奥まで
届いてる…
凄いんだよ…

あっ♡

私アゼルさまとするたび
どんどんえっちに
なっちゃう♡♡♡

ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡



ねえ見て♡
マルク♡
♡♡♡

子種を
注がれるのが
癖になっちゃった♡

はあ♡

はあ♡



いつも欲しくて
たまらないの…♡
私変わっちゃった♡

もう
あなたの知ってる
私じゃないの

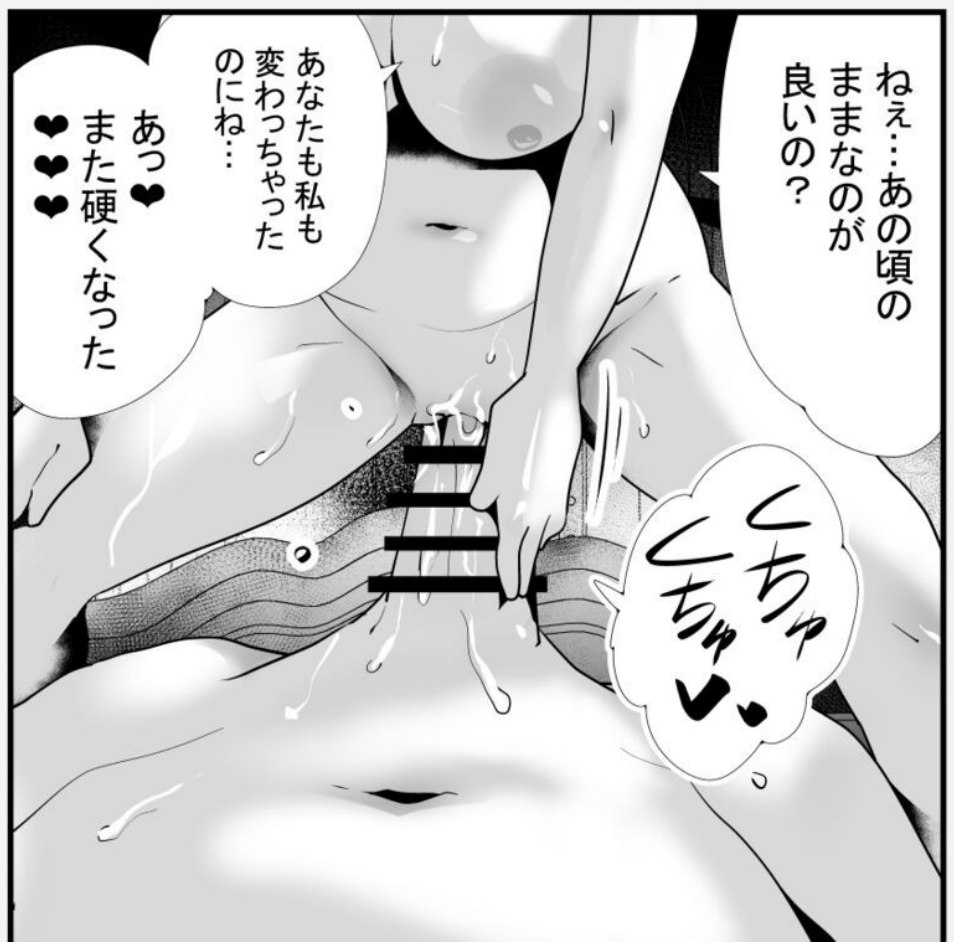
えっちにしか
興味がなくて
他の事はもう
どうでもいいの…♡

ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡

ちゅ♡



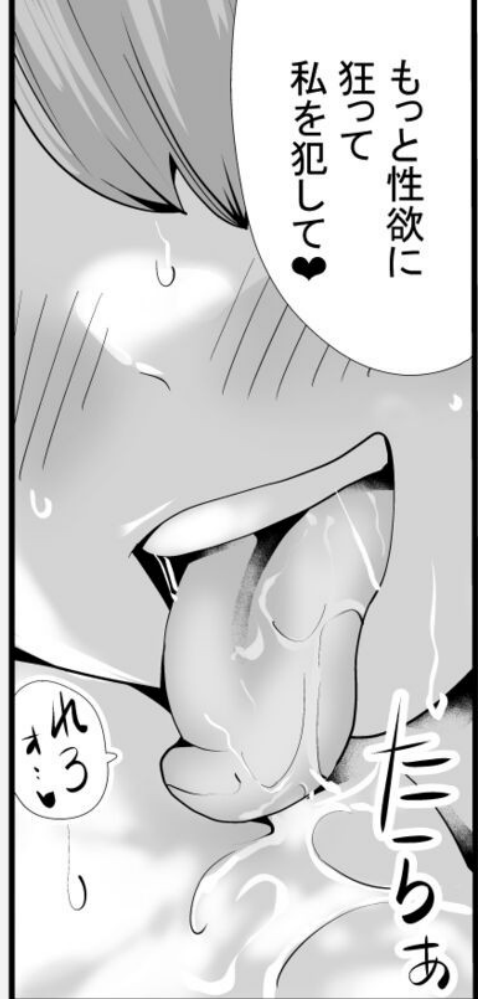




だめだめえ♥
ぜんっぜんダメえ
♥♥♥

私に
翻弄されないで?

もって性欲に
狂って
私を犯して♥



私
めちやくちやに
されたいの♥

我慢できないの♥
えっちしたくて
たまらないの♥

私を満足させて
我を忘れさせて♥



アゼル様は
初めてのときから
たつぷりと深く
探ってくれたの♥

お陰で私も
知らない自分に
出会っちゃった♥

こんなに
シタかったなんて
経験するまで
知らなかった♥

ねえ♥ねえ♥
もってシたいよね♥
私をたつぷり
味わって♥



SEXのない
生活なんて
忘れちゃった…

全身で密着して
お互いのことだけ
考えて絶頂するの…好き♡

美味しかったけど
物足りないや

頑張って
門番してね

そして今度また、
えっちしようね♡

あれえ
いつちやった？

…私まだなのに
気絶しちゃった

じゃあ、
しかたないね

私アゼル様と
えっちの
続きしてくる…

もっと
えっちしたくて
やっぱり我慢
できないの…

はあはあ
はあ…

おい、
聞いたか

北の森で
S級パーティー
壊滅だによ

ザインの
パーティーか

マルクス以来の
S級だった
つてのに...

俺たちじゃ
手が出せねえ

愛する
人のため

俺は今日も
この城を
守っている

女の
ために

はあ♡

はあ♡

人類を裏切り
快樂に従い

たっ♡

たっ♡

はあ♡

サキュバスに
魅入られて
永遠に生き続ける

たっ♡